

平成 25 年 6 月 19 日

各位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
沖合生産・貯油出荷施設 (FPSO) 建造に係る起工式の開催について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、オーストラリアで操業主体 (オペレーター) としてプロジェクトパートナーとともにイクシス LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) の開発作業を進めておりますが、昨日、本プロジェクトの主要生産施設の一つである沖合生産・貯油出荷施設 (以下 FPSO : Floating Production, Storage and Offloading) の建造に係る起工式を建造地の韓国オクポにて行いました。

FPSOの起工式には、当社を含む多数の関係者が参加し、自動切断機で鋼板を切断するセレモニー (1st Steel Cutting Ceremony) などを行い、建造工事の開始を祝しました。本起工式の実施をもって、本プロジェクトに係るすべての主要な施設の建造・建設に着手したことになります。



FPSO 起工式

イクシスガス・コンデンセート田から産出された天然ガスは、沖合生産・処理施設 (以下、CPF : Central Processing Facility) において天然ガスと特軽質原油であるコンデンセート等に分離処理されます。その後さらに分離処理されたコンデンセートは、FPSO に貯蔵され、出荷用タンカーに出荷されます。本 FPSO は、ダーウィンに建設される液化天然ガスプラントや CPF 同様、本プロジェクトを支える重要施設の一つとして機能します。

国際石油開発帝石株式会社 INPEX CORPORATION

当社は、安全を最優先事項に、FPSO の建造工事を本格的に実施し、その後の現場設置を経て、2016 年末までに生産開始することを目指します。

今後も当社は、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進して参る所存です。

以上



沖合生産施設完成イメージ



沖合生産・貯油出荷施設（FPSO：Floating Production Storage & Offloading）完成イメージ

イクシスLNGプロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、沖合生産・貯油出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に本プロジェクト最終投資決定を行いました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。